

やきものに うたう： ハンガリー 現代陶芸展

岐阜県現代陶芸美術館
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu



Voices in Ceramics

Contemporary
Hungarian
Ceramic Art

1965-2022

Szólamok kerámiában: Kortárs magyar kerámiaművészet



2023.4.22 SATURDAY
- 7.2 SUNDAY

10:00-18:00

最終入館17:30まで Last admission until 17:30

Gallery I, Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

Closed on Mondays

Admission Fee: Adults ¥1000[¥900], College and university students ¥800[¥700]

* Free admission for high school students and younger.

* [] indicates fees per person for groups of 20 or more.

* Free admission for visitors with disability or with intractable disease and their care partner.

Organized by: Museum of Modern Ceramic Art, Gifu; Embassy of Hungary in Tokyo; Liszt Institute Hungarian Cultural Center; The Budapest Museum of Applied Arts

Co-organized by: The Chunichi Shimbun

Supported by: Hungarian Academy of Arts (MMA), Gifu Prefecture Hungary Friendship Association

With the sponsorship of: Lufthansa Cargo AG

With the cooperation of: Mino Togei Association

With the coordination of: Art Impression Inc.

岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリー I

休館日: 月曜日

観覧料: 一般1000円[900円] 大学生800円[700円] 高校生以下無料

※[]内は20名以上の団体料金

※以下の手帳等をお持ちの方、および付き添いの方1名まで無料

身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、特定医療費(指定難病)受給者証

主催: 岐阜県現代陶芸美術館、駐日ハンガリー大使館、リスト・ハンガリー文化センター東京、ブダペスト国立工芸美術館

共催: 中日新聞社

後援: ハンガリー芸術アカデミー、岐阜県ハンガリー友好協会

協賛: ルフトハンザ カーゴ AG

協力: 公益社団法人 美濃陶芸協会

企画協力: 株式会社アートインプレッション

いまを象る Forming Now

南北に流れる大河ドナウと大平原一豊かな自然に育まれた中欧の国、ハンガリーでは、複雑な歴史をたどったその社会に呼応するようにして、独自の陶芸文化が形成されてきました。現在では、ヨーロッパ随一の陶芸に特化したレジデンス施設(ケチケメート国際陶芸スタジオ)を擁するなど、陶芸文化の活発な地域としても知られます。

本展は、ブダペスト国立工芸美術館による学術協力のもと、1960年代以降のハンガリー現代陶芸の流れを、その歴史的背景をふまえ紹介するものです。第二次世界大戦後の社会主義の時代、1989年の民主化を経て現代に至る、激しい社会の変化を経験するなかで、それぞれの方法で表現の道を模索した作家の作品が並びます。巨匠から新進気鋭の作家まで、ハンガリーの陶芸家たちの多彩な「こえ」が聴こえる作品をご覧ください。

やきものに うたう： ハンガリー 現代陶芸展



1. Németh János, Pan, 1965 2. Kádasi Éva, Coffee Set with Grass Decoration, 1997 3. Schrammel Imre, Trianon-Pietá, 1988 4. Babos Pálma, Tower from the City, 2007 5. Nagy Márta, Bowl Set for the Zsolnay Porcelain Manufactory "Swelling", 2001 6. Botos Balázs, Brooch and Ring from the Iceland Collection, 2020 7. Füzesi Zsuzsa, Koan 9, 2020 1.-6. ブダペスト国立工芸美術館蔵、Photo: Friedrich Krisztina 7. Zsdral-ART Gallery蔵、Photo: Rajnai Richárd 表面 A. Fekete László, Goddess of Dubious Origin and Function, 1996 B. Tamás Ákos, Petal, 1990 C. Geszler Mária, Dust Coat, 1985 D. Fusz György, Nodder II, 1981 E. Kontor Enikő, Draught from the Breathe Series, 2019 すべてブダペスト国立工芸美術館蔵、Photo: Friedrich Krisztina



記念講演会「概説・ハンガリー現代陶芸」

講師 ノヴァーク・ピロシュカ
(ブダペスト国立工芸美術館 陶磁器・ガラス部門 シニア・キュレーター)

日時 4月22日(土) 14:00~15:30

会場 岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム

聴講無料、要事前申込、日本語通訳あり

アーティスト・トーク

出品作家に、自作について、またハンガリーの陶芸家から見た美濃・日本についてお話いただきます。

講師 ネーマ・ユリア
(陶芸家・ハンガリー在住、本展出品作家)

日時 5月20日(土) 14:00~15:00

会場 岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム

聴講無料、要事前申込、日本語通訳あり

ワークショップ「ハンガリーのスープ」

ハンガリーは隠れたスープ大国。その個性的なスープについて、デモンストレーションと試食を通じて教わります。

会場 セラミックパークMINO イベントホール

要事前申込
※日時ほか詳細は当館ウェブサイトにてお知らせします

当館学芸員によるギャラリートーク

日時 5月7日(日)、6月25日(日)
各日14:00~

聴講無料(ただし要観覧券)、事前申込不要

講演会「ハンガリーの文化と歴史」

講師 早稲田みか(大阪大学名誉教授)

日時 6月10日(土) 14:00~15:30

会場 岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム

聴講無料、要事前申込

ワークショップ「うずまきに魅せられて」

講師 アーグネス・フス
(陶芸家・長野県在住、本展出品作家)

日時 6月17日(土) 13:30~

会場 セラミックパークMINO 作陶館

要事前申込

ミュージアムコンサート 「ハンガリーのしらべ」

演奏 山田真吾(チェロ)
橋本専史(チェロ)

日時 6月18日(日) 14:00~

会場 岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリー1

参加無料(ただし要観覧券)、事前申込不要

同時開催(ギャラリーII)

~5月7日(日)

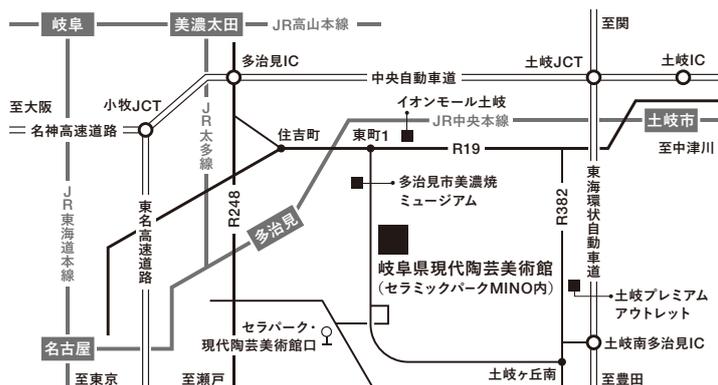
THE GIFTS
—安藤基金コレクションから-日本の陶芸-
コレクション・ハイライト
新収蔵作品展 -令和3年度新収蔵品2-

5月16日(火)~8月27日(日)

豊場惺也展
コレクション展

この他にも会期中さまざまな催事を予定しています。詳しい情報や申込方法については当館ウェブサイトをご確認ください。

URL <https://www.cpm-gifu.jp/museum>



公共交通機関でのアクセス

東京・大阪方面→名古屋駅でJR中央線に乗換
多治見駅から

- タクシー 約10分
- 多治見市コミュニティバス「オリベ観光ルート」約20分→「セラミックパークMINO」下車
※土・祝のみ運行
- 東鉄バス「瑞浪駅」「妻木上郷」「駄知」行き約15分→「セラパーク・現代陶芸美術館口」下車
→徒歩約10分

〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5
(セラミックパークMINO内)
TEL 0572-28-3100 FAX 0572-28-3101

お車でアクセス

- 東京方面・東名高速→豊田JCT経由、新東名高速→豊田東JCT経由
- 富山方面・東海北陸自動車道→美濃関JCT経由
- 長野方面・中央自動車道→土岐JCT経由
東海環状自動車道 土岐南多治見ICから約5分
- 大阪方面・名神高速→小牧JCT経由
中央自動車道 多治見ICから国道19号を土岐・中津川方面に約10分→東町1の交差点を右折

岐阜県現代陶芸美術館
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

新型コロナウイルス感染症の状況等により、予定に変更が生じる場合がございます。最新の情報は当館ウェブサイトをご確認ください。